

幸地児童公園が開園



幸地児童公園開園式で関係者約500名が見守る中、テープカットをする。
右から城間県土木部長、宮平町長、沢岷君、与那嶺事務担当者。

町では、昭和五十四年度事業で幸地五三番地に総工費一千八百万円を投じて幸地児童公園(敷地一、二〇〇平方メートル、三六四坪)の建設を進めていたが、去る三月二十五日に待望の同公園が竣工し、五月三十一日には、その開園式が関係者約五百名を集めて行われた。

同公園は、本町では我謝に次いで二番目。除幕式及びテープカットは、城間勇吉県土木建築部長、宮平吉太郎町長、与那嶺榮幸事務担当者、沢岷盛喜君(児童代表)の四名の手によって行われ、その後、式典が公園内で進められた。

式典では、経過報告(玉那嶺三郎都市計画課長)、町長あいさつ、祝辞(県土木建築部長、親泊輝武町議会議員)、事務担当者あいさつ、児童代表あいさつ(沢岷盛喜君)などが行われた後、県土木建築部長、町長、町議会議員、事務担当者によって記念植樹も行われた。

また、同日午後四時半から区民が趣向を凝した余興も行われ、酒も出され、青老入り乱れて夜遅くまで賑った。

同公園には、パーゴラ(休憩

少年像、サーター車なども設置

所)、ベンチ、ブランコ、ネコ型スベリ台、乗馬グローブ、タコ、タイ、カニ、砂場などが設置されているほか、水飲み場、便所なども用意されている。

国際児童年(昨年)を記念したモニュメント(少年の青銅像)が建立され、さらに昔の農村生活がしのばれるサーター車(サトウキビ搾機)も園内の一面に取り付けられ、ユニークな公園である。

この公園完成により、子ども達が安全に遊ぶことができ、さらに児童の健全育成に大きく寄与するものと期待されている。

本町では、児童公園整備事業の一環として今年度も工事費七千四百万円を計上し、字与那城、字桃原、字棚原の三ヶ所に児童公園を建設する計画であります。

発行所
西原町役場
西原町字嘉手刈112番地
電話 (09894) 5-4533
印刷
印刷センター 大永
電話 (0988) 67-5111~3

町の世帯・人口
(昭和55年 5月末現在)
世帯数 3,939世帯
人口 16,190人
男 8,281人
女 7,909人
5月の人口移動
出生 20人 死亡 4人
転入 123人 転出 83人
婚姻 11件 離婚 3件

新たに西原文雄氏ら学識経験者 五名を委員に任命

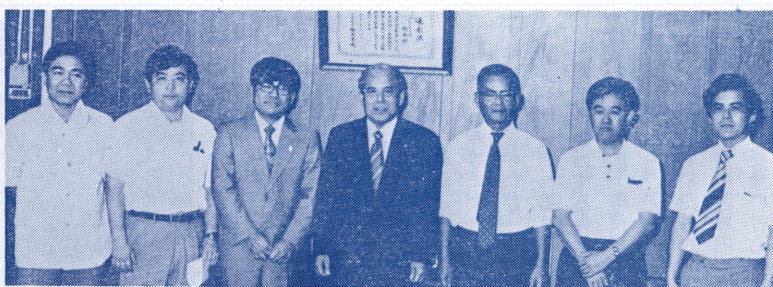
＝町史編纂委員会＝



宮平町長から新たに5名の町史編纂委員の辞令が手渡される。

去る六月十三日、町役場町長室に於いて、新町史編纂委員五氏への辞令交付式が行なわれた。こんど委嘱された新しい委員は学識経験者である。町史編纂事業を推進する上で、その母体として期待される。新しく委嘱された委員は次のとおりである。

西原文雄 県史料編集所主任専門員
当真嗣一 県文化課主任専門員
平良徹夫 首里高校教諭



右から宮平氏、平良氏、仲宗根町史編纂委員長、宮平町長、西原氏、呉屋氏、当間氏。

呉屋善記 西原高校教諭
宮平 実 沖縄大学非常勤講師
これまでの町史編纂委員九名とあわせて計十四名で町史編纂委員会を構成することになった。町民町史編纂委員会、町史編纂事務局(町役場企画課)の三者が一体となつて、町史編纂事業を進めていきたいと思つたので、町民の御協力をお願いします。

※町史に関する御意見御要望お

新築住宅・中古住宅又はその土地を取得した方へ

県税条例の改正により不動産取得税の軽減を受けるためには取得した日から60日以内に県税事務所等に申告する必要があります。

例えば、床面積が165㎡以下の新築住宅(床面積が165㎡を超える住宅は軽減されません)の場合申告しなければ約105,000円の税金を余分に納めることになります。くわしいことは各県税事務所等にお問い合わせください。那覇県税事務所 0988 (66) 2517

中古住宅及び土地は昭和55年4月1日取得分から新築住宅(未使用住宅)の購入は4月1日適用)は昭和55年7月1日取得分から適用されます。

沖縄県総務部税務課

香典返し

五月二十九日に那覇市繁多川三番地の小波津善栄さん(五二才)から町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)に四月九日に亡くなられた父・小波津喜英さん(七三才)の香典返しとして十萬円の寄付がありましたのでこの紙面をかりて感謝申し上げます。

旧陸海軍看護婦実態調査を6月から8月まで行っています。
調査票は町福祉課に用意されています。

町商工会 第5回通常総会

新会長に小橋川英吉氏

町商工会（古波蔵保雄会長、会員二百七十八名）では、五月二十三日午後二時から中央公民館で会員及び来賓約百名を集め、第五回通常総会を開いた。

席上、昭和五十四年度事業報告書、収支決算書、貸借対照表、財産目録及び剰余金処分承認について、昭和五十五年度事業計画並びに収支予算の承認についてなどの議案が審議され、全会一致で承認された。

その後、任期満了に伴う役員改選が行われたが、新会長に小橋川英吉さん（兼久給油所専務）副会長に池原忠英さん（池原組代表者）、城間三郎さん（三明タイ社長）が選れた。そのほか理事が寄られている。



町商工会第五回通常総会

最後に、永年勤続優良従業員賞の表彰と感謝状の授与が行なわれた。その方々は次の通り。

〔永年勤続優良従業員表彰〕
呉屋栄信、津波古正次、呉屋盛光、新垣陽功（金秀鉄工）、比屋根律雄、城間盛元、友寄隆伸（三善建設）、金城文雄、富里盛秀、新城栄吉、新城栄吉、城間富盛（拓南商事）、伊良波八重子（沖縄陶業）、貝敷光政、大城トミ子（レストラン西原）、仲里明夫、金城芳、古波津由美子（オキコ）
照屋ヨシ（日本生命与那原支部）
〔感謝状〕
屋良朝光（前副会長）
新垣哲永（前監事）

町婦人主張大会

比嘉明子さん町代表に

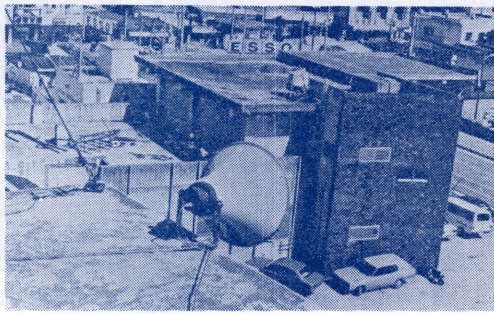
町婦人会（大城静子会長）、町教育委員会共催の第六回町婦人主張大会が、六月十五日午後二時から中央公民館大ホールで約二百名の会員をはじめ審査員、来賓を招き開かれ、町代表に比嘉明子さん（十五区、小波津団地）が選ばれた。

この大会は、家庭を守り、子供の幸せを願う婦人が日頃感じている意見を発表し、郷土を築く糧とし、婦人会活動の原動力にしたいということから毎年一回開いてい

六月一日に字翁長四五八番地の佐久本清さん（沖縄電響・取締役）から町青少年育成協議会（宮平吉太郎会長）に青少年の健全育成に役立ててもらいたいと電子チャイム一台、アンプ一台、プログラマイザー一台、トランペットスピーカー四本の電子オルゴール組合せ一式が寄贈されました。さっそくそれは、町役場庁舎屋

寄贈お礼

上に設置され、毎日、午前七時半には児童生徒の登校を促すために「恋は水色」のメロディ、午後六時には児童生徒の帰宅を促すため



佐久本さんから寄贈された電子オルゴール

寄付お礼

このほど、育英会の資金に役立ててもらいたいと町育英会（宮平吉太郎会長）に字小那覇二四〇番地の玉城重英さん（司法書士、61才）から十万円、沖縄県視聴覚教育映画の会の迫兼夫さん（会長）から五万円の寄付がありましたのでこの紙面をかりて感謝申し上げ

米軍から人身被害を受けた方に

国から見舞金が支給

復帰前、沖縄においてアメリカ合衆国軍隊等およびそれらの要員の行為等により人身被害を受けた沖縄の住民又はその遺族に対し、このたび「人身被害者特別支出金」として、国から見舞金が支給されることになりました。

左記に該当する人は、特別支出金の申請をすることができ、すので早目に（町役場）に申請して下さい。

記

一 昭和二十七年四月二日から昭和四十七年五月一日までの間に、沖縄県の区域内においてアメリカ合衆国の軍隊等およびそれらの要員の行為等により死亡、負傷、疾病など人身被害を受けた沖縄の住民又はその遺族のうち、その被害についてアメリカ合衆国軍隊等から金品の支払等を受けなかった人で、特別支出金を支給することが必要であると認められる人
二 一の被害者又は遺族のうちアメリカ合衆国軍隊等から支払を受けたが、当該支払額が不当であるなど特別支出金を支給することが相当であると認められる特別の事情がある人
（注意）
この特別支出金支給の申請期間は昭和五十五年五月二六日から同年十一月三十日までです。
なお、詳細については、総務課（五〇二二）まで問い合わせて下さい。

学費に困っている方は

町育英会の貸与奨学金の利用を

町育英会（宮平吉太郎会長）

では、六月二日午後三時半から町役場会議室で役員、理事評議員あわせて十八名を集め、昭和五十五年度総会が開かれた。

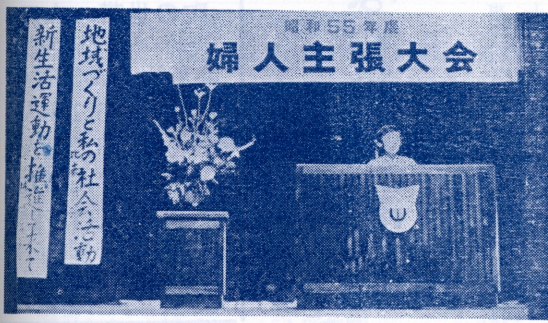
席上で五十四年度決算、五十五年度予算案が審議され、それぞれ承認された。

今年度の貸与奨学金は、高校六千円（一人当り月額以下同）、県内大学一万二千元、県外大学二万円、前年度と同

額。

町育英会では、今年度予算で貸与奨学金二四二万四千円を計上し高校五名、県内大学六名、県外大学五名計十六名を募集する計画ですが、貸与希望者は、次の書類を添えて同事務局（町教育委員会内）に早めに申込み下さい。

- (1) 戸籍謄本
- (2) 住民票謄本及び保証人の資
- (3) 産並びに所得証明書
- (4) 学校長の人物審査書
- (5) 尚、詳しいことは町教育委員会（電話五―三六五五）にお問い合せ下さい。



町婦人主張大会

比嘉明子さんが、発表、態度、発声、内容とも優秀と評価され、郡大会代表として派遣されることになった。

第一表 町内河川の水質調査結果

分析項目	P H			DO (ppm)			BOD (ppm)			SS (ppm)			大腸菌群数 (個/100ml)		
	52年	53年	54年	52年	53年	54年	52年	53年	54年	52年	53年	54年	52年	53年	54年
河川															
我謝川河口部	8.0	8.0	8.2	2.4	5.6	11.8	15.4	16.4	15.4	7.2	3.9	7.3	15 ×10 ⁶	46 ×10 ⁴	33 ×10 ⁴
兼久川下流	7.4	7.9	8.6	1.0	6.1	10.4	49.0	17.0	18.6	17.8	33.0	14.2	92 ×10 ⁸	24 ×10 ⁵	26 ×10 ⁴
小波津川下流	7.3	9.5	7.1	2.5	13.2	1.7	30.3	8.7	47.2	27.0	4.0	39.0	22 ×10 ²	11 ×10 ⁶	33 ×10 ²
小那覇川河口	8.2	8.1	7.8	12.0	2.1	10.3	9.8	19.0	8.7	6.0	6.4	7.5	11 ×10 ⁴	21 ×10 ⁶	24 ×10 ³
浜田川中流	7.6	7.8	7.5	2.3	3.1	1.8	4.9	1.2	4.8	1.1	3.9	1.1	46 ×10 ²	24 ×10 ⁴	16 ×10 ⁴
稲国川中流	7.7	8.1	7.8	6.2	3.6	6.5	3.3	1.6	3.8	1.7	4.2	3.8	33 ×10 ³	93 ×10	21 ×10 ³
名護川中流	7.8	7.7	7.8	5.4	0.3	6.3	19.6	17.9	10.2	16.0	9.0	4.1	34 ×10 ²	24 ×10 ⁵	22 ×10 ³
徳佐田川中流	8.2	7.0	8.4	10.1	2.4	7.8	132.6	75.3	4.6	39.6	15.0	4.4	16 ×10 ³	11 ×10 ⁷	33 ×10 ⁴
森川川中流	7.9	河川工 事のため 測定せ ず	8.1	7.9	河川工 事のため 測定せ ず	9.3	6.1	河川工 事のため 測定せ ず	9.6	5.3	河川工 事のため 測定せ ず	10.6	50 ×10 ³	河川工 事のため 測定せ ず	18 ×10 ⁴
C類型の環境基準	6.5以上～8.5以下			5 ppm以上			5 ppm以下			50ppm以下					

※ 説明 P H : 水素イオン濃度
D O : 溶存酸素
BOD : 生物化学的酸素要求量
S S : 浮遊物質
浜田川: 南西石油付近を流れる川
稲国川: 掛保久、小那覇付近を流れる川
名護川: 幸地を流れる川

ppm : 百万分中の幾分であることを示す分率である。
ある物質 1 kg中に 1 mg含まれると 1 ppmという。

町では、昭和五三年度に引継ぎ一査を実施していましたが、このほ昭和五四年度にも生活環境の汚染状況把握のため町内及び町近海城の河川、大気、底質の分析調点での大気中硫黄酸化物濃度測定町内及び町近海城の底質調査などの結果は次表の通り。

昭和54年度

環境分析結果まとまる

第三表 町内及び町近海域の底質調査結果

分析項目	Pb (ppm)			Cd (ppm)			As (ppm)			T-Hg (ppm)			Cr VI (ppm)		
	50年	53年	54年	50年	53年	54年	50年	53年	54年	50年	53年	54年	50年	53年	54年
定場所															
小波津川河口附近	ND	11.53	15.2	ND	0.19	0.27	8.30	4.63	1.44	0.02	0.03	0.02	ND	ND	ND
兼久川河口附近	ND	7.59	10.9	ND	0.14	0.23	7.39	7.07	3.52	ND	0.02	0.01	ND	ND	ND
沖繩軽金属(株)沿い 稲国川中流	ND	15.92	34.70	10.43	0.65	2.51	3.73	2.83	0.07	0.16	0.03	ND	ND	ND	ND
南西石油(株)最終排 出口附近	ND	14.08	16.5	ND	0.09	0.09	9.64	9.29	12.90	0.03	0.03	ND	ND	ND	ND
南西石油(株)敷地 南側小那覇川河口附近	—	—	16.7	—	—	0.29	—	—	3.23	—	—	0.01	—	—	ND
小波津団地裏 (バックランド)	—	14.77	—	—	0.10	—	—	6.50	—	—	0.04	—	—	ND	—
南西石油(株)出荷棧橋 向け陸上から500m地点 (バックランド)	ND	—	—	ND	—	—	5.77	—	—	ND	—	—	ND	—	—

※ ND : 不検出 Cr VI : 六価クロム

元素の地殻存在度

元素	Pb (鉛)	Cd (カドミウム)	AS (ヒ素)	Hg (水銀)	Cr (クロム)
単位					
重量ppm	12.5	0.2	1.8	0.08	100

第二表 町内各地点での大気中硫黄酸化物濃度の測定結果
(二酸化鉛法, 単位: mg・SO₃/day/100cm²PbO₂)

測定年度	51年	52年	53年	54年
測定場所				
西原無線送信所	0.092	0.095	0.112	0.111
我謝公民館	0.058	0.104	0.055	0.056
小波津公民館	0.055	0.067	0.083	0.078
沖繩三育小学校	0.110	0.097	0.221	0.066

二酸化鉛法による汚染度判定基準表

汚 染 度	SO ₃ mg/day/100cm ² PbO ₂	評 価
汚染第1度	0.5以上1.0未満	軽微の汚染
汚染第2度	1.0以上2.0未満	普通の汚染
汚染第3度	2.0以上3.0未満	中程度の汚染
汚染第4度	3.0以上 4.0未満	やや高度の汚染
汚染第5度	4.0以上	高度の汚染



西原クラブ		
21	21	18
16	19	21
1 クラブ谷		

西原クラブ		
21	22	20
8	20	22
1 クラブ玉		

尚、優勝戦は次の通り。

第三回中頭地区少年少女バレーボール大会が六月八日と十五日の両日、北谷高校体育館と山内小学校体育館で行なわれ、西原小学校の児童で編成された西原クラブが男女共に優勝に輝きました。

参加チームは、中頭十三市町村から男子十二チーム、女子三十二チームで体育館いっぱい熱戦がくりひろげられました。

優勝戦では、大城朝信先生(西原小学校理科専科)に率られる西原クラブ(男子)が、北谷町の北玉クラブを2対1で下し連続優勝し、金城功恵先生(西原小学校六年二組担任)に率られる西原クラブ(女子)が、北谷町の北谷クラブととりくんでおります。育成会(部員の父兄で結成されたもの)の理解も得ながら子ども達は、学校、練習、家庭生活を有意義に楽しく過しています。

ひとまず、県大会で日頃の練習成果を十二分に発揮し、正々堂々悔のない試合をしてもらいたいものです。

中頭地区は、全県下でもバレーボールのレベルが高く八月下旬に予定されている全県大会にも優勝候補の一つに数られています。

現在、西原クラブは男子部員二十五名、女子部員四十名あり、大城先生と金城先生の指導監督の下に毎日放課後二時間みっちり練習にとりくんでおります。

子どもニュース
西原クラブ
男女優勝に輝く

中頭少年少女
バレーボール大会

新しい貯蓄標語を募集、貯蓄増強中央委員会。

